

1 中学校社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

2 評価と評価方法

観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3年 内容	定期テストや小テストで、用語や場所を正しく理解しているか。	レポートやワークシートで、資料から読み取ったことを自分の言葉で説明できているか。	授業中の発言、ノートの整理、期限内の課題提出。

3 授業計画（3年）

4月	二つの世界大戦と日本	11月	市場経済と価格
5月	現代の日本と世界	12月	金融と政府の役割
6月	現代社会の見方・考え方	1月	国際社会と平和
7月	日本国憲法と人権	2月	SDGs と持続可能な社会
9月	民主政治の仕組み	3月	3年間の総復習
10月	地方自治と私たちの暮らし		

4 授業の進め方

	活動内容	ポイント
導入・復習	前回の振り返りクイズや、本日のテーマに関連する写真の提示。	視覚的なインパクトで興味を引く。
課題の提示（問い）	「なぜ、アメリカとソ連は冷戦をおきたか？」「社会権についてどのような権利なのか？」といった学習課題（めあて）の設定。	「知りたい」という動機付け。
展開（自力解決・共有）	教科書や資料集、統計データを読み取り、個人またはグループで課題の答えを探す。	資料活用能力を養う時間。
まとめ・解説	学習した内容を構造化して板書し、教員が補足説明を行う。	知識の定着と整理。
振り返り	本日の学びを自分の言葉で1-2行書く。	思考の言語化。

5 授業で使うもの

- ① 教科書
- ② ノート（地理・歴史）
- ③ 筆記用具（シャーペン、消しゴム、定規、蛍光ペン2色 赤ペン）
- ④ 社会ファイル
- ⑤ よくわかる社会の学習（歴史・公民）